

指導行政のポイント

文科省初中局の“メルマガ”

菱村 幸彦

このたび、文部科学省の初等中等教育局からメルマガジンが配信されることとなった。

初中教育改革の最新情報を発信

メールマガジンは、電子メールを利用して発行される雑誌。読みたい人が登録すればホットな情報が自動的に（しかもたいていは無料で）送信されてくる。情報入手としてはきわめて便利なツールである。わが国のメールマガジンは、数万種類にのぼるといふ。“メルマガ”全盛時代である。

で、各省庁から発信されるメールマガジンも数多い。なかでも有名なのは、官邸から出されている「小泉内閣メールマガジン」だろう。配信開始後1か月で登録数が200万人を超えたというから、その人気ぶりは相当なものだ。

文科省も「生徒指導メールマガジン」（児童生徒課）と「大学改革G Pナビ - Good Practice」（大学振興課）を発行している。今回、これに初等中等教育改革をめぐる様々な情報を迅速に発信するメールマガジン「初中教育ニュース」（仮称）が加わるわけだ。

文科省HPのアナウンスによると、「初中教育ニュース」の発行要領は、次のとおり。

(1) 配信日 月2回（第2，第4木曜日）

(2) 掲載内容

初等中等教育行政の動きに関する情報 中央教育審議会の審議状況 キーワード解説 イベント情報 その他（教育にまつわるエッセイなど）

(3) 配信先 システムの都合上、専用サーバ整備までの間は、都道府県・市町村教育委員会および教育関係団体。専用サーバ整備後（およそ3か月後）、文科省HPで一般も受付配信。

中央教育審議会の義務教育特別部会の審議もいよいよ大詰め近づいた。初等中等教育の改革がどう

展開するか、教育関係者としては目が離せない。そんななかで、文科省から初等中等教育改革に的を絞った最新情報が配信されるとなれば、これは必見であろう。

コンパクトで見やすい情報誌に

本稿の執筆時には、まだ「初中教育ニュース」は配信されていないが（本紙の配信時には第1号が出ているはず）、文科省HPに掲載されている「創刊準備号」を覗いてみると、次のような内容が盛りされている。

第1に「教育改革の動き」欄では、「今後の学級編制及び教職員配置について」の中間報告、「教室等の室内環境の在り方について」の中間報告、平成18年度予算概算要求 が解説付きで掲載されている。それぞれに付記されているURLをクリックすれば、全文が読める。

第2に「中教審2 weeks」欄では、義務教育特別部会と教育課程部会の最近の動きがまとめてある。同じくURLから議事録にアプローチできるが、肝心の議事録の掲載が遅れているのが残念だ。もう少し早く入力してほしい。

第3に「連載コラム：教育改革最前線」欄では、「数字でみる義務教育特別部会」と題して、エッセー風のサイド情報が載っている。こうした話は読みやすい。中教審のウラ情報などあれば面白いだろう。そのほか「お知らせ」欄として、最近のイベントの紹介がある。

とまあ、創刊準備号の内容はこんな具合である。「編集後記」で担当者が「コンパクトで見やすく、かつ必要な情報はしっかり詰まったお得なメルマガを目指したい」と意気込みを語っている。今後の「初中教育ニュース」の配信に注目したい。

（ひしむら・ゆきひこ = (財)学習ソフトウェア情報研究センター理事長）

●新刊案内●

小川正人（中教審委員）【編】A5判220頁・定価2310円 教育開発研究所刊

中教審委員等第一線の研究者・実践者が解説！ 全国の先進的実践例を多数紹介！

義務教育改革—その争点と地域・学校の取り組み

研修誌・図書の小社への直接のお申し込みは無料 FAX 0120-462-488 をご利用ください（24時間受付・即日発送）